



インド (ニューデリー)

BOP層家庭訪問調査レポート

■調査実施:	2014年1月
■調査場所:	インド マハラーシュトラ州 ナーグブル市
■調査対象:	マドゥカール(仮名)さん一家
■換算レート:	100インドルピー≒167円(2013年12月現在)



マドゥカールさんの一家



マドゥカールさん

両親とともに、父の持ち家に住んでいます。

19歳から13年間現在の事務所で日雇いで働いていました。

中央政府からの仕事を中心ですが、余り繁盛していません。

母の介護の出費で儉約しなければならなかったため、新婚旅行など出来ず、ナーグブルから出たことはありません。

妻

専業主婦です。

高卒で、結婚まで両親とナーグブル市に住んでいました。

家族構成	マドゥカールさん 32歳 妻 28歳 父 74歳 母 60歳
世帯収入	月17,000ルピー
職業	所得税会計事務所契約社員
勤務日数	週6日 (日曜日休日)

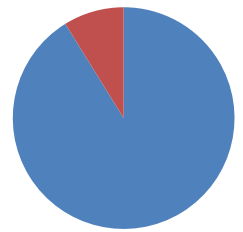
家族について

マドゥカールさんはナーグブル市に生まれ育ち、5人兄弟。高校に1年まで通ったが、母が麻痺性の病気にかかったため、父を助けて家計を支え、幼い兄弟の面倒を見るため、中退せざるを得なかった。マドゥカールさんが一家の大黒柱だが、父が定年まで勤めていたナーグブル市手織物公社の年金収入がある。

支出入内訳

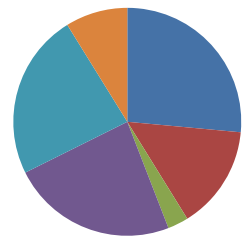
■ 月間収入内訳(ルピー)

■ マドゥカールさん	15,500
■ 父の年金	1,500



■ 月間支出内訳(ルピー)

■ 食費	4,500
■ 光熱費	2,500
■ 交通費・通信費	500
■ 医療費 (主に母の薬代)	4,000
■ 日用品・衣料費	4,000
■ その他	1,500





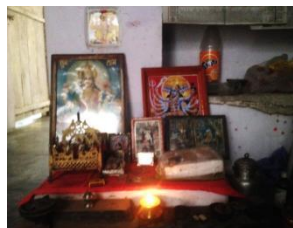
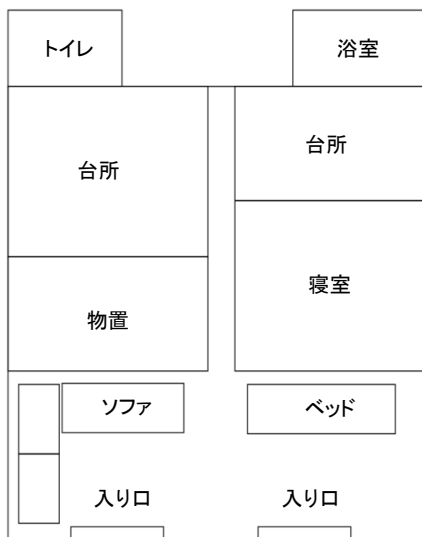
住居



自宅	父の持ち家
床面積	139平米(屋上を除く)
築	20年(一部改築中)
購入時の価格	30,000 ルピー
電気	引かれている。
水道	引かれている。
トイレ	屈み式

家電製品等 テレビ	Panasonic(結婚した際贈られたもの)
携帯電話	2台(マドゥカールさん用と自宅用)
扇風機	天井型2台(居間と寝室)
冷蔵庫	中国ハイアール製
洗濯機	なし。妻が屋外で洗って干す。
台所コンロ	LPGガスコンロ
自転車等	1台

間取り



JETRO

Copy rights(C) 2014 JETRO. All rights reserved.



主菜

マドゥカールさん一家は厳格なベジタリアン

朝食

サブダナ(タピオカ)、キチディ(米と緑豆の粥)、チワダ(ポン菓子)、ポハ(米汁フレーク)か、パンのトーストに牛乳

昼食

ロティ(発酵させないパン)、サブジ(野菜の煮物)にダル豆と米料

夕食

ロティやサブジ、ダル豆、米料理など昼食と同じようなもの

調理

ガスコンロを使い、地元で買った大豆油で調理する。

外食

外食や誕生日の特別料理などは、家計の都合上、通常しない。



マドゥカールさんの両親



小麦や米の配給所



時間

マドゥカールさん

朝7時30分に起床し、朝食の後8時30分に自転車で出勤、9時30分に事務所に着く。夕方7時30分に退勤して8時30分に帰宅。入浴して夕食の後、9時30分には就寝する。

父

早朝3時に起床して近所を散歩した後、薪で湯を沸かし、7時30分頃紅茶とビスケットの軽食を摂る。その後ハヌマン(猿神)寺院に行って1時間祈りをささげ、帰宅して9時30分頃に朝食、再び散歩に出る。夕方7時30分に寺院に行って夕べの祈りをささげ、帰宅して8時30分に夕食、10時に床に就く。父は高齢で家の助けが出来ないが、マドゥカールさんの精神的支えとして大きな存在になっている。

母

朝6時30分に起床。病弱で時間がかかるが、一人で入浴する。10時にランチを摂り、病床で寝ながらテレビを見、8時30分に夕食。テレビを見、祈りをささげるのが母の一日だ。

妻

朝6時30分に起床し、日に3時間しか給水されない水道水を溜めることから始まり、全ての家事が彼女の肩にかかっている。まず外の掃除を済ませ、7時30分に食事の用意をした後、8時30分から家の掃除や洗濯などにかかる。暫く休んで、5時30分から夕食の用意を始め、家族の食事の世話などをした後、夜10時に床に就く。

マドゥカールさんが家計を助けるため日雇いで勤め出してから、家計の出費は増える一方で、将来に備えてより良い収入を得るための勉強はできないでいる。せめてバイクを買いたいが、今の収入では自転車が精一杯だ。母の介護で子供も作れない。多ければ多いほど良いが、今の状態では2人作るのが限界と思っている。高齢の父と病弱な母を抱えて、近くに適切な医療施設が無いのも心配の種。旅行も出来ないが、母が少しでも良くなれば、せめて母を連れて聖地シルディに旅行し、サイババの祈禱を受けたい。



JETRO

【免責事項】本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。